

会議議事録

会 議 名	第 2 回学校関係者評価委員会	
開 催 日 時	平成 27 年 9 月 19 日（土） 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参 加 者	外 部 員	参加者 4 名 児島 康夫 川越キングス・ガーデン 理事 山本 慎介 わかたけかなえ保育園 園長 齋藤 洋子 彰栄学園 評議員・卒業生 阿川 裕孝 小・中学校校長 OB
	内 部 員	参加者 4 名 帆苅 猛（校長）、加藤 啓（校長補佐）、 芦野 裕一（事務局長）、堀越 弘二（広報）
		欠席者 2 名 林 淳三、鈴木 一伸
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ●2015 年度 第 2 回学校関係者評価委員会プログラム ●退学者数推移（2014・2015 年度） ●学校見学者数一覧 	

会 議 録

1. 校長挨拶（帆苅）
開会の挨拶ならびに任期についての確認
2. 委員長挨拶（児島）
児島先生から、挨拶。
3. 平成 26 年度 自己点検・自己評価について
配布資料について説明をおこなった。
 - ①退学者について、今年度の現状報告（加藤）
 - ②学校見学者数について、昨年度と今年度の比較と状況説明（堀越）
 - ③教育環境について、現状報告（堀越）
4. 平成 26 年度自己点検・自己評価報告について
25 年度からの変更点などを中心に説明をおこなった。（堀越）
5. 委員からの質疑、評価
別紙参照
6. 今後の日程について
今後のスケジュールの提案。
2 月 27 日（土） 2015 年度第 3 回委員会開催
7. 閉会

各評価項目の質疑応答について

1. 学校関係者評価について

①退学者数について

2010年度から2015年度9月現在までの推移資料を基に退学率を説明

昨年度は特に入試別割合でAO入試受験者の退学率が高かったが、2015年度については、割合が減少している。要因として入学前講習会の実施。音楽（ピアノ）では音符が読める状態で入学してもらっている。また現場でよく使う漢字99問をその場で行ない、解答できない問題については、こちらも入学までに覚えてくるよう指導している。

入学前講習会の実施について、自己点検・自己評価報告書に記載されていないので、載せた方がよい。(山本)

*5-17 退学者への対応 小項目 5-17-1 「退学率の低減が図られているか」の欄に、記載する(加藤)

採用面接の時に、どうしてこの学校を選んだのか、聞いている。また学生が自ら選んでもらえるように、知りたい事や気になる事を伝えられるようにした方がよい。(山本)

*学校見学に来た生徒には他校も見学したかを聞いている。そして色々な選択肢の中から選んだ方がよいと話をしている(加藤)

②学校見学者数について

2014年度と2015年度9月前半までの比較を説明

段々大きなイベント（サマーカレッジ・スプリングカレッジ・入試説明会など）へ参加する生徒の数も減ってきている。要因として、長い時間拘束されるのを嫌う生徒の増加等が考えられる。

2014年度より、土曜見学会や春の見学ウィークなど、時間も短く少人数対応のイベントを新しく行なったり、春の見学ウィークでは、4日間の設定とし色々な模擬授業を選択出来るようにした。これらにより、2013年度と比べ2014年度は見学者数が大幅に増えた。その2014年度より現時点で多少見学者が増加している。

学生募集活動の中に、自己点検・自己評価報告書に記載がないので、具体的なイベントなど活動内容を記載した方がよい。(小島)

*7-25 「学生募集活動は、適正に行なわれているか。」 小項目 7-25-2 「学生募集活動を適切かつ効果的におこなっているか」の欄に、記載する(加藤)

③教育環境について

2014年度・2015年度に行なった、設備改修や備品購入などについて説明(堀越)

2014年度は、医療的ケアの物品購入や4号館 講堂のイスの交換を実施。

2015年度は、学生通用口の扉の改修・6号館への通路に庇を追加。そして、2号館2階・3階教室の改修を行っている。

その他について

基準3 教育活動の大項目総括欄にアッセンブリーアワーと記載あるが、外部の人には
分りづらいので、(ホームルーム)と括弧づけで、記載した方が分りやすい。

*追加で記載する (加藤)

6-24 防災・安全管理 6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用して
いるかに対し、イ 現状・具体的な取組みなどの欄で警備会社を介し、防犯体制を整備し
ている。とあるが、もっと具体的な表記がある方がよい (阿川)

*セコムによる機械警備を行っている。防犯カメラが8台あり、記録をすることによる抑止効
果がある (芦野)

普段の学生の出入りも管理が必要では。

学校は入り易いので、特にここは事務所より出入りが見えないので、入れない仕組みが
必要では (阿川)

*システムや仕組み作りなどは、予算確保も必要になる為、直ぐ決めることは出来ないが、
今後検討をしていく (帆苺)

基準4 学修成果の特記事項欄と 4-15 卒業生の社会的評価の特記事項欄に男性につ
いても記載されているが、男性ではなく男子学生と記載した方がよいのでは。(阿川)

*修正し、記載する。(加藤)

4-15-1 小項目 卒業生の社会的評価を把握しているかのウ 課題と解決方向欄に「学
校関係者評価委員会でも指摘されているが」との文言を入れてもらいたい。前回の会議で
意見交換を行なっている。(阿川)

*追加し、記載する。(加藤)

2. 今後のスケジュール

2016年2月27日 2015年度第3回委員会開催